http://joonji.jp
真宗大谷派
浄恩寺
浄恩寺　雅楽葬　検索

平成３０年　８月　第４０７号

浄恩寺同朋会報

電話　０５２－８８１－８４７４

「献体」の遺志

月の晦日、不思議な縁で壽算壱百弐歳のお婆ちゃんの葬儀を勤めました。前住職と同じ施設にみえた方で。

葬儀を終え、霊柩車を見送り、引き続き初七日を勤め、この写真を記念撮る着前に撮りました。通常なら、火葬してから、還骨繰り上げ初七日法要ですが・・・火葬されるの約一年後。献体が故人様の遺志でした。

壱百壱年生きた後も、誰かのために身をもって貢献する。晴れ晴れとした眩しい夏の空に出迎えられたように感じられました。

「七回忌を終えるまでは・・・」

ご主人を亡くされて六年間。奥さん自身も癌を発症され、闘病の日々が繰り返されてみえました。法要当日、早めにお寺に着かれました。元気そうにみえましたが・・・

お話を聞くと、転移した癌のため、余命を宣告されましたが、再度闘病の決断をされたことを伺いました。

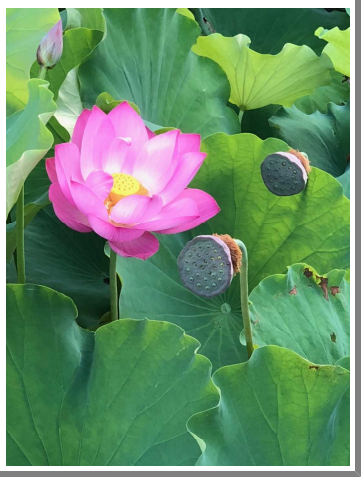
お子さんがみえないため、自身の後のことを託したくご七回忌に臨まれたことを伝えられました。

笑いを交えながら法要を営み、車いすを借りて、お墓参りも済ませました。清々しいお顔が印象的でしあわせを感じる工夫を逢うこと・・願います。

「蓮華、咲う」

ふくちゃんと散歩。猛暑のため、早朝五時三〇分に出発してラジオ体操始まる前に公園を出る日課となりました。

今年は「蓮華」が綺麗で、長期間咲いています。



咲く瞬間、音がするという伝説を聞きました。

そのかわり、「おはようございます」の声が、以前に比べ響き、初対面の私やふくにも気軽に声がけをしていただけることに心地よさを感じています。

そんな景色を見て、蓮華も咲（笑）っているようにも思えます。孤立しがちな社会で、ここは孤独感を感じませんが。皆さんが求めてみえるから・・・つながりを。

お盆の前にと続いた・・・お墓開きと納骨」どなたも熱症にならなくて良かった。南無南無南無です。